

万引きをしない させない 見逃さない 「万引きさせないTOKYOキャンペーン」協賛企画

平成25年7月22日(月)～同年7月28日(日)



万引防止システム点検のお願い

万引防止システムをお使いいただきありがとうございます。日本万引防止システム協会の加入会員企業ではその製品の品質・機能において万全を期して設置・導入を進めております。しかし、どのようなシステムでも、さまざまな環境の変化がシステムに影響をもたらす、業務やサービスに支障を来すことも考えられます。そこで、「万引きさせないTOKYOキャンペーン」期間中のいま、下記のチェック項目をご参照されまして、万引防止システムの正常稼働を確認をお願いします。

ハード対策を重点においた「10のチェック項目」

- (1) 商品管理システムのゲートや解除器、監視モニター、ミラーなどの機器が汚れていない
ポイント: 汚れている場合は説明書に従い清掃をお願いします
- (2) 商品管理システム(ゲートやケーブル式センサー等)が正常に機能している
 - ① 商品管理システム等の設置及び設置方法が適切である
ポイント: ゲート本体がディスプレイなどで見えなくなっていると効果が半減します
 - ② 商品管理システムが正常に発報している(タグの検知)
ポイント: この機会にメンテナンス契約をご確認ください
商品管理システムの検知範囲確認試験規格や万引防止システム&運用チェック表は下記リンクよりダウンロードできます
・電子商品監視装置の検知範囲確認試験規格 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20130409-2.pdf>
・万引防止システム&万引防止運用チェック表 <http://www.jeas.gr.jp/20130711.xls>
 - ③ 発報時の声掛けを実施している
 - ④ タグ付けが基準に従って適切に取り付けられている
 - ⑤ タグの解除器が正常に作動している
ポイント: 不正に外部に持ち出されないようになっている(ワイヤーの取り付け、ソフト上のID管理など)
 - ⑥ 所定箇所に「EAS ステッカー」及び「EAS機器導入店表示POP」が貼付けがされている
詳しい内容は、日本万引防止システム協会HPの「ダウンロードページ」をご参照ください
・JEASダウンロードページ <http://www.jeas.gr.jp/download.html>
- (3) 防犯カメラ、防犯ミラーの効果的活用がなされている
 - ① 効果的な設置と活用がなされている
ポイント: 死角がカバーされている。タペストリーなどで効果が半減していないこと
 - ② 防犯設備のメンテナンスが適切におこなわれている
ポイント: この機会にメンテナンス契約をご確認ください
 - ③ 常時監視の実施並びに定期的に録画映像をチェックしている
 - ④ レコーダーは施錠できる部屋又は施錠できるケースに設置され、鍵の管理が行われている
- (4) 店内表示の仕方は効果的に活用されている
 - ① 「万引き防止」ポスター等(POP)の掲示がなされている
 - ② 「カメラ動作中」「警備員巡回中」等のステッカーが掲示されている
- (5) 高額品は万引防止システムを活用した陳列又は施錠管理されている
- (6) 防犯設備の教育がなされている(タグ・防犯カメラ・館内放送)
- (7) 売場ごとの不明ロス率や万引きされやすい商品について、担当者が関心を持っている
- (8) 従業員、警備員の連携と巡回が適切に行われている
- (9) 不審者対策のための声掛けについてのルール化と訓練がなされている
- (10) 店内の整理整頓、商品、商品棚、売場の点検は適切である



積極的なお声かけも大切です



東京万引き防止官民合同会議とは

万引きを撲滅することで“安全・安心な街、東京”の実現を目指した、全国初となる、警視庁、都をはじめ、日本小売業協会など業界団体17団体、及びNPO法人全国万引犯罪防止機構など関係団体18団体で組織されております。

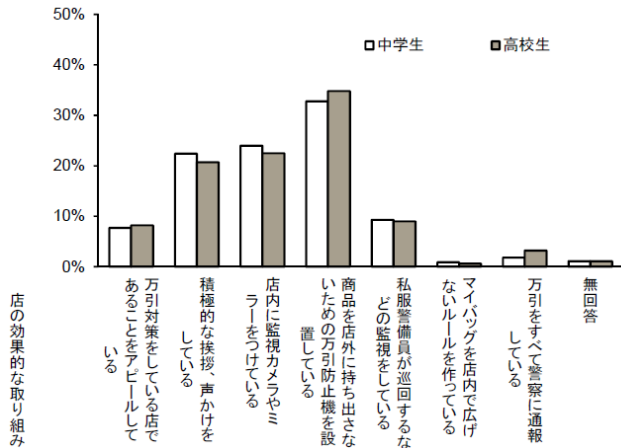
次回の「万引防止のための防犯責任者養成講座」は9月9日(月)午後13時に東京商工会議所の「国際会議場」で開催されます。

ホームページ: http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/seian/manbiki_pos/manbiki_torikumi.htm

みなさん、ご存知でしたか。万引防止システムへの期待度

万引防止システムは、店舗のご要望だけでなく、保護者や青少年からも強い要望があります。青少年の健全育成と社会の安全・安心のためにも「機器の動作確認」「正しい運用」をお願いします。

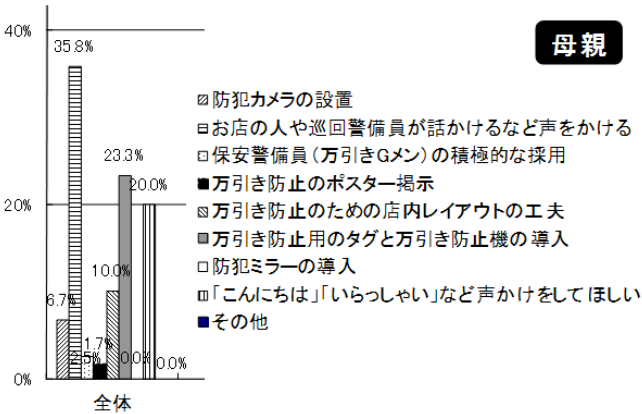
1. 中学生・高校生が効果的だと思う店舗の万引対策



店が行っている万引対策のうち、どの対策が効果的だと思うかを尋ねる設問である。中高生ともに、「万引防止機の設置」を選んだ者の割合(中32.8%、高34.8%)が最も高い。次いで、「監視カメラやミラーの設置」(中24.0%、高22.5%)、「挨拶、声かけ」(中22.4%、高20.7%)、「警備員の巡回」(中9.3%、高9.0%)、「万引対策店であることのアピール」(中7.7%、高8.2%)という順である。なお、「全件通報」を選んだ者の割合は、中高生ともに低かった(中1.8%、高3.2%)。

第8回万引に関する全国青少年意識調査(H24年実施)より
N=中学校2年 4,218 票、高校2年 4,971 票

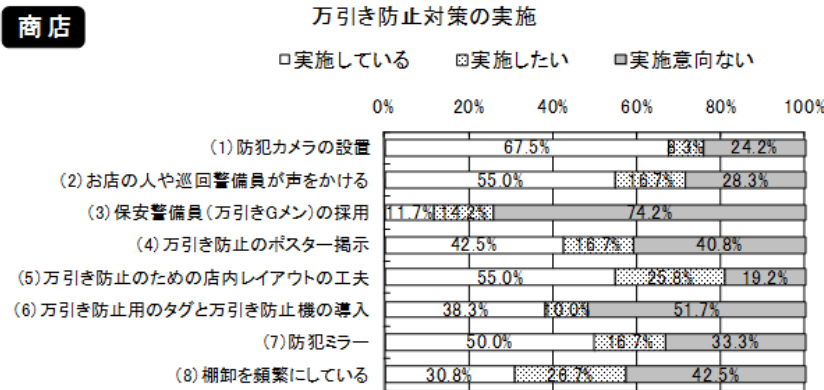
2. 母親が、小中高生に万引きをさせないために商店にもっとも行ってほしい対策



母親が「商店に行きたくらい」は子どもの年齢によって差異がある。全体で最も回答が高い「お店の人や巡回警備員が話しかけるなど声をかける」は、学年が低いほど回答が高くなる。全体の回答が2位の「万引き防止用のタグと万引き防止機の導入」は、「中学生」(36.7%)が最も高い。次いで「小学校1~3年生」(26.7%)が高い。3位の「『こんにちは』『いらっしゃい』など声掛けをして欲しい」は、「小学校4~6年生」(30.0%)が最も高く、次いで高校生(23.3%)が高い。「万引き防止のための店内レイアウトの工夫」は、「小学校」「中学生」では高くないが、「高校生」で23.3%と高くなる。

「商店街における万引きに関する調査」
東京都民・商店の実態・意識調査結果報告書より N=120

3. 商店の防止策実施と今後の意向



「万引き防止対策」について商店が「実施している」「実施したい」「実施意向ない」の回答を得る形の質問。「実施していること」は「防犯カメラの設置」(67.5%)、「お店の人や巡回警備員が声をかける」(55.0%)「万引き防止のための店内レイアウトの工夫」(55.0%)、「防犯ミラー」(50.0%)が高い。一方「実施意向ない」の回答が高い項目は「保安警備員の採用」が非常に高く(74.2%)、次いで「万引き防止用のタグと万引き防止機の導入」(51.7%)も半数を超える。親が望む防止策とはギャップが生じている。

「商店街における万引きに関する調査」
東京都民・商店の実態・意識調査結果報告書より N=120



日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一の産業団体として、万引防止システム市場の円滑な拡大と発展を支えるための仕組みや制度づくり、万引防止システム普及のための調査研究、行政機関、各種団体、報道機関との連絡・調整等、活発な活動を繰り広げております。

お問合せ先 : 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8 中村ビル1階
TEL 03-3355-2322 FAX 03-3355-2344
E-mail: info@jeas.gr.jp HP: http://www.jeas.gr.jp

日本万引防止システム協会 正会員